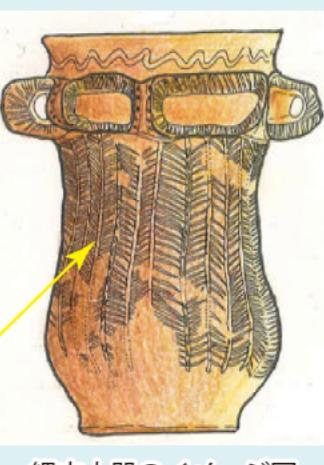


主な出土遺物

縄文時代中期の土器が見つかりました。

縄文土器片 (煮炊き用の深鉢)

昨年度調査した遺跡西側で見つかった土器よりも
立体的な装飾で古い特徴のある土器を発見しました。



土器には縄文の他に、うずまき模様や矢羽根状の模様、細い竹のような管状のもので突き刺した小穴などの文様が見られます。

これらの土器の形や文様は、美濃地方（岐阜県）で見られる土器の特徴と似ており、影響を受けていたことがうかがえます。



遺跡西側と同様に、東側の集落でもいろいろな石材の石鏃や、製作時に出たかけらがたくさん見つかりました。その中でも今回は、石器の素材となる大きな剥片を竪穴住居から発見しました。このことから遠方から石器に適した石材を運び、地元で石器を作っていたことが考えられます。

まとめ

今年度の調査で、鈴山遺跡東側にも集落の存在が明らかになりました。出土した土器の形状や掘立柱建物がないことから、集落は東側の方が古く、西側の方へと移っていったように思われます。

また、縄文時代の人々は東西文化の影響を強く受け、取り入れながらも独自の文化を築いていった様子がわかりました。北勢地方における縄文時代の様子を知る手がかりを得たことは、大きな成果と言えます。



鈴山遺跡第3次発掘調査 現地説明会資料 (新名神高速道路発掘調査ニュース「菰野のあけぼの第3号」)

三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503

TEL:0596-52-1732 / FAX:0596-52-7035 <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/maibun/>

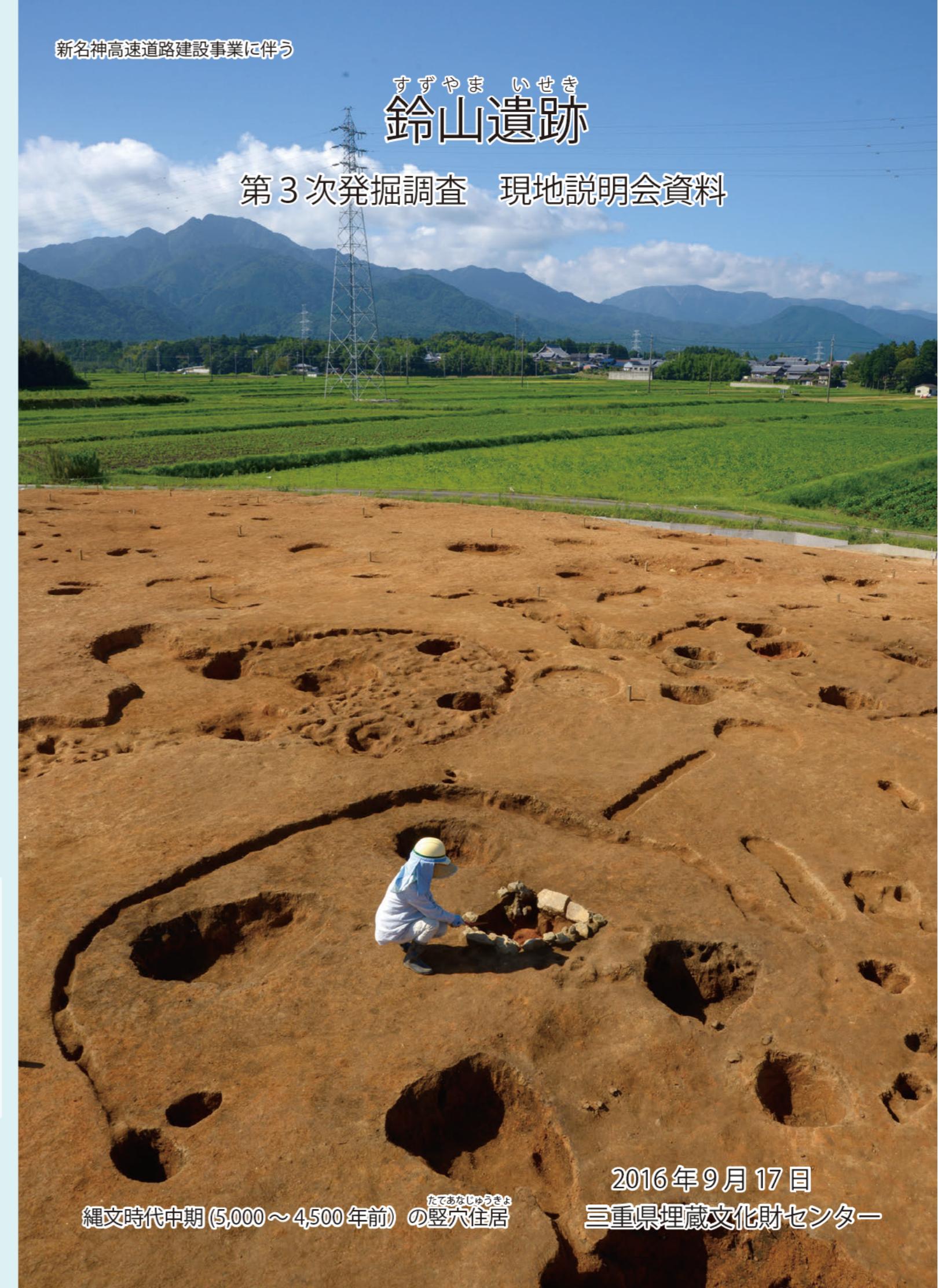
四日市整理所 〒512-8064 三重県四日市市伊坂町 126-1

TEL:059-363-3195 / FAX:059-363-3196

新名神高速道路建設事業に伴う

鈴山遺跡

第3次発掘調査 現地説明会資料

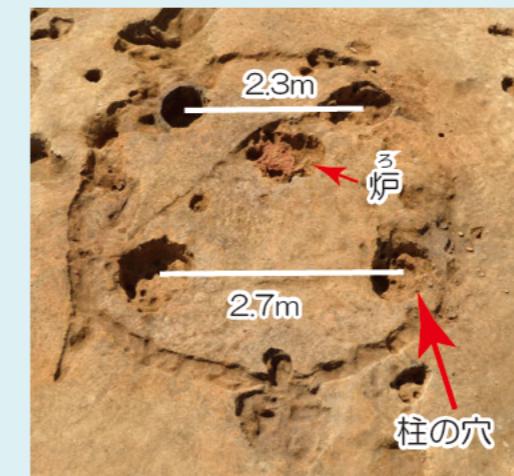
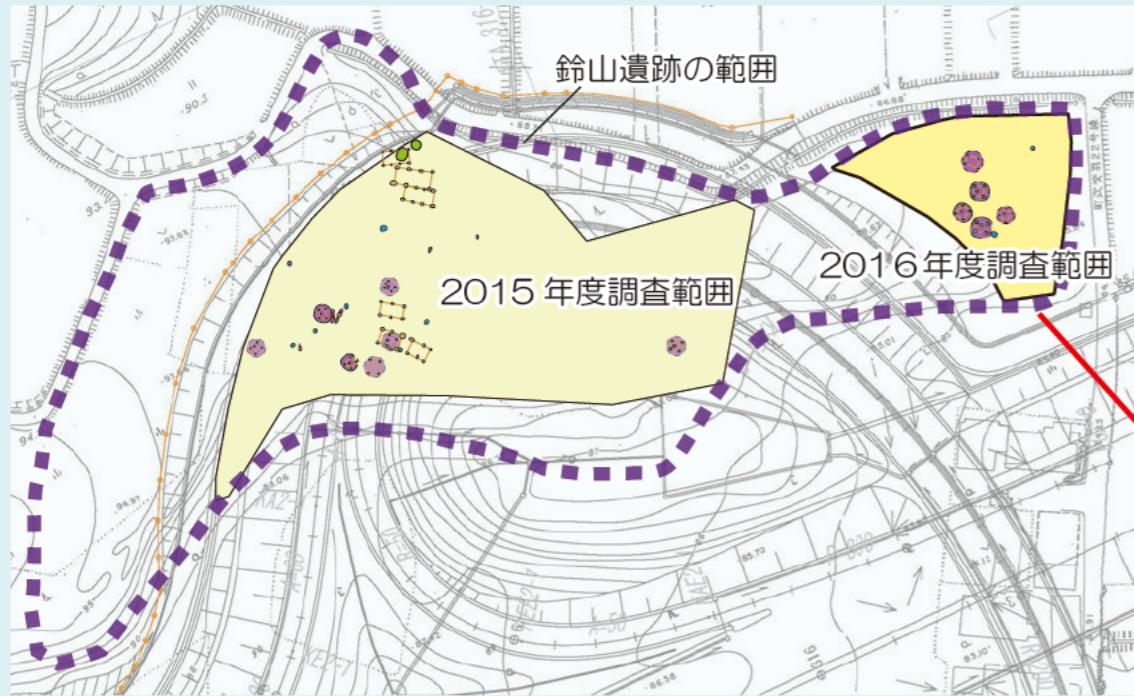


2016年9月17日

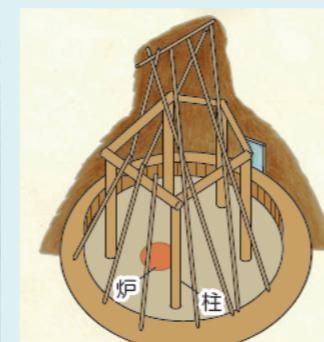
縄文時代中期 (5,000~4,500年前) の竪穴住居

三重県埋蔵文化財センター

2016年9月17日



① 竪穴住居
4つの柱穴と火で調理などをしていましたと思われる炉が見つかりました。奥の柱の間隔より手前の柱の間隔の方が広くなっていることや、炉が中央より奥にあることがわかります。手前の方の空間を広くし、出入りしていたと考えられます。



竪穴住居のイメージ図



③ 落とし穴
ほかく
動物を捕獲するための穴で、底の中央の穴には先のとがった杭が立てられていたと考えられます。

いしがこいろ 県内最多！ 竪穴住居と石囲い炉について

昨年度は縄文時代中期の竪穴住居を8棟発見しました。今年度の調査でも新たに5棟が見つかり、合わせると県内最多の13棟を発見したことになります。

その竪穴住居のうち1棟から、石囲い炉が見つかりました。一辺が約90cmの四角形で、炉の奥には平らな面のある整った石が選ばれています。長年の経過などにより石は割れていますが、四辺とも1~2個程度の石で囲っています。

また、竪穴住居の形をよく観察すると、円形というより四隅が丸みのある四角形に見えます。この形状は縄文時代中期後半に見られる特徴で、石囲い炉の導入時期と同時期にあたるものと考えられます。

これらの文化は東方から伝播されたものだと推定されます。



石囲い炉 火の熱を受けて底が赤く変色し硬くなっている



1. 千草城跡
2. 向城城跡
3. 金ヶ原城跡
4. 榛ノ木遺跡
5. 西江野A遺跡
6. 西江野B遺跡
7. 飛塚古墳
8. 蓿野城跡
9. 力尾城跡
10. 福村氏館跡
11. 大久保遺跡

いこう 主な遺構の時代と種類	
じょうもんじだいちゅうき 縄文時代中期 (およそ5,000年～4,500年前)	たてあなしゅうきよ 竪穴住居 (点線は予想される範囲)
お 落とし穴	あと ☆遺構…むかしの人々の生活の跡